

今回の全国学力・学習状況調査では、国語・数学の学力調査の他、学習に対する意識や取組状況、学習環境に関する質問が行われました

今年度の結果は、以下の通りです。全国平均を上回る項目については、今後も伸ばしていくような取組を心がけ、下回っている項目については、要因となるものを分析して、その改善に向け、取り組んでいきたいと考えております。質問項目について、特に顕著な例を挙げます。

○肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を上回っている○

- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・将来の夢や目標をもっていますか
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・1、2年生のときに学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することにより、分からないことがあった時に、すぐに調べることができる
- ・1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

●肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を下回っている●

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- ・数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか

//////結果より//////

今年度の3学年については、自分のよさを認め、将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高いという素晴らしさがあります。また、困っている人を進んで助けたり、学校にいつでも相談できる大人がいるという状況が、学校祭等の行事の成功にもつながっていると考えられます。

授業の中でICTの活用場面を設定することにより、そのよさの理解が広がっています。そして英語で発表する活動が多く取り入れられていることについては、今後も継続していきたいところです。

一方で生徒が自分で学び方を考え、工夫していくことや、学習した内容を次の学習につなげていくことについては、課題が残ります。授業の中でも自ら学び方を考えつつ、進んで学習に取り組む姿勢が少しずつ身に付くように、教師の授業改善にも努めていきたいと考えております。

//////

札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを学校とご家庭とが、『まほうのかいわ』を合い言葉に連携して取り組むことを目指しています。ご家庭でもぜひ、学校生活の様子などを話題にさせていただきたいと思っております。

さっぽろっ子「学び」のススメ

[https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/r3\\_susume.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/r3_susume.pdf)